

神戸支部の先生方、ぜひご参加ください

第75回評議員会のご案内

協会はこの半年、医療改善や経営対策、会員の身近な要求に応える相談活動など、様々な取り組みを行ってきました。これらを総括し、来年度の活動方針を協議するため、第75回評議員会を開催致します。評議員会は総会に次ぐ決議機関として、本会の活動の中心となる重要な会議です。評議員の皆様には、万障繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願いいたします。

■日時 5月17日(日)13時~/ ■会場 兵庫県保険医協会会議室

- ・13:00～ 第75回評議員会
2008年度会務報告と2009年度活動方針案の件
2009年度予算案の件、役員改選の件、ほか
- ・15:30～ 特別講演
- ・17:00 終了

評議員会特別講演



「新自由主義の破綻と 資本主義のゆくえ」

神戸大学教授 二宮 厚美先生

〈にのみや あつみ〉1947年生まれ。京都大学大学院、大阪外国語大学助教授を経て、93年から神戸大学教授。経済学、社会環境論専攻。「現代資本主義と新自由主義の暴走」など著書多数。

アメリカ発の金融危機が世界中を不況に追い込む中で、資本主義のあり方が問われています。講師の二宮先生は、市場原理を徹底する新自由主義の弊害を早くから予見し「新自由主義の経済的成功は、国民生活の悲劇的失敗と一体のものである」と指摘していました。その上で今日の経済危機からの脱出のために「医療・社会保障を拡充する必要がある」と強調しています。今後の日本の進路を縦横無尽に語っていただく講演会です。多くの先生のご参加をお待ちしています。

FAXで返信をお願いいたします。 返信 FAX 078-393-1802

■第75回評議員会 出席します 欠席します

地区 _____ 氏名 _____

兵庫県保険医協会 650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F
TEL078-393-1807 FAX393-1802 担当 柳原

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

216号
2009年4月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

神戸支部研修会

患者さん・自分のために “院内感染予防策”の徹底を



医師・歯科医師・スタッフなど120人が参加した

神戸支部は4月11日に県学校厚生会館で研修会「外来診療における院内感染対策」を開催。神戸赤十字病院泌尿器科部長兼検査部長の松井隆先生を講師に、医師・歯科医師・スタッフなど120人が参加した。

松井先生は、外来で問題となる感染症の種類と、その感染経路を解説し「患者さんと自分のために標準予防策の徹底を」と強調した。その上で、手洗いの仕方、手袋・

マスク・ゴーグル等の使用方法を動画を使ってわかりやすく説明した。また、針刺し事故を起こさないために「原則リキップは禁止」とし、針刺し事故防止つき注射針や針捨てボックスの活用などを紹介、さらに医療従事者に勧めるワクチンや結核対策、エイズに感染した場合にどの病院に行けばいいかなどを示した。

接遇研修会に70人が参加

ロールプレイで実践的に学んだ



窓口での対応、患者さんへの接し方を実践する参加者

神戸支部は3月28日、協会会議室で大手前短期大学准教授の水原道子先生を講師に職員接遇研修会「接遇の基本とクレーム対応」を開催し、35医療機関から71人が参加。清潔区域で働く者としての身だしなみや、日常よくある場面での適切な対応法、クレームに関わる対応をロールプレイを交えながら学んだ。

〈参加者の感想文〉

最初に、ほとんど女性ばかりの会場で、男性は数人なので、少し面喰いました。さて、「接遇」というと、「ていねいな対応」という印象がありますが、話を聞くにつれて、それだけでない事がわかりました。患者さんを「私の」、そして「診療所の」ファンにする方法、そして、患者さんとの対応についてのコツなど、い

ろいろと学ばせてもらいました。

私自身、患者さんの話は、よく聞くようにしていますが、話したくてたまらない方は、いつまでも話されて困ることがよくあります。「1分たったら笑顔で話を切る。トントン肩をたたいたりしてうまく話を切る」という話をされました。話をうまく切り上げるテクニックは、診療全体の流れのためにも、待ち時間短縮のためにも重要なことです。また、クレームを受けた時、①人をかえる、②時をかえる、③場所をかえるという三原則についても勉強になりました。今後は、学んだことを実際の診療現場で活用することを考えていきたいと思えます。

【北区：細川医院 細川 巖】

健康と医療について語り合う会

『胃袋ダイエット』講演



松本先生が自身の著書『胃袋ダイエット』をわかりやすく解説

神戸支部も協力する聴覚障害者の医療を考える会が3月26日にアステップKOB Eで学習会を開催。今回は「ダイエット」について話題提供してほしいという声にこたえ、神戸支部の松本浩彦先生が講演。松本先生自身の著書『胃袋ダイエット』をテーマに、23人が参加した。

松本先生は、「痩せたいなら、食べるな」「食べたいなら、痩せたいと思うな」と提起し、その理由について「太った人は、はからずも『過食トレーニング』を続けてしまった結果であ

り、その異常な胃袋を『減食トレーニング』によって本来の姿にもどすことが大事」とした。

松本先生は「胃袋ダイエット」の方法について「食事の3割をのこす。カロリーは気にせず、食事の量を減らすこと」と繰り返し強調した。

参加者からは「ダイエットに運動は必要なのか」「カロリーは本当に気にしなくていいのか」などの質問が寄せられた。

投稿を募集しています



支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

FAX 078-393-1802 または e-mail tamura@doc-net.or.jp 担当:田村まで